

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立紫錦台中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒920 -0938

金沢市飛梅町3-30

E-mail : shikindai-j@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/shikindai-j/

児童生徒数：男子 211 名 女子 207 名 合計 418 名

児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①総合的な学習の時間「飛梅タイム」の実践

「飛梅タイム」では、伝統文化、国際理解、環境の3分野を中心に学習を進めている。1年生では全員が3分野についての基礎的な学習を行う。2・3年生では興味・関心に応じて、希望の講座を選択し、体験活動や探究活動を行っている。

伝統文化の分野では、金沢に伝わる能、狂言、獅子舞、和太鼓、和紙ちぎり絵、南京玉すだれ、茶道などの講座を開設し、地域の方を講師に招き体験的な学習を実施した。プロに学び、実際の伝統芸能や伝統工芸を体験することによってそれらの魅力を感じることができ、多くの生徒がこれらの伝統文化の価値を守っていくことの重要性を認識することができた。地域に伝わる「上野町餅つき踊り」も取り入れており、地域の伝統を受け継ぐ役割も果たしている。

国際理解の分野では、「世界一大きな授業」のワークショップを行ったり、青年海外協力隊OBの方に来ていただいて国際理解講座を実施したりした。世界の諸課題について学ぶことは、地球的規模で物事を捉える基礎になる。また、世界の文化を学んだり、英語劇を通して芸術を学んだり、金沢市の姉妹都市交流員の方々に来ていただき話をうかがうなどをした。このような学習を通して、世界の国々特有の良さと日本の文化のすばらしさを再認識することができた。また、金沢の偉人についての講演会を行い、郷土について理解を深めることで、金沢の良さについても考えることができた。

環境の分野では、地球が抱える今日的課題に対して様々な視点から考えた。校外活動を通して現状を知り、環境に優しい生活を送る工夫を考えるなど、各グループが課題を設定し、様々な方法で課題を解決するための学習を行った。

この「飛梅タイム」を通して、生徒たちは地域に伝わる伝統文化を学び、大切にすることを育みながら、世界にも目を向け、これからの未来を担っていく自分たちが、何を大切にして生きていくべきかを考えるよい機会となっている。「飛梅タイム」での学びは本校の大きな特色として大切に受け継がれ、今後もさらに充実させていきたいと考えている。

②生徒会活動へのつながり

ユネスコスクールに加盟して8年目になるが、「自分たちにも何かできるESD活動はないか」という考えのもと、生徒会を中心として学校全体で様々な活動に積極的に取り組む姿勢が定着してきている。

具体的な取組としては、通学路や辰巳用水の清掃、地域のお年寄り家庭を訪問して草むしりなどの手伝いをする「KOB (Keep Outskirts Beautiful) プロジェクト」やペットボトルのキャップを集めるエコキャップ運動、書き損じはがきの回収運動などさまざまな活動を行っている。

また、委員会活動の中でもESD運動が定着してきた。ESDを意識することで、生徒の間に少しずつESDの価値観を育んだり、ユネスコスクールとしての役割を考えたりするきっかけになっている。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()